

学校名 桶川市立桶川西中学校
所在地 桶川市川田谷3680-1
電話 048-787-1342

1 本校の概要

「志を持ち 自ら学ぶ 健康でたくましい生徒」を学校教育目標として、きれいな環境の中で豊かな学びがある学校をめざして日々取り組んでいる。

生徒数 493 名 学級数 16 の学校である。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 学校図書館の環境整備の工夫
- ・ 特色のある読書活動の取組

(2) 実践の概要

学校図書館に行ってみよう、入ってみようと思えるための環境や、本を読んでみよう、借りてみようと思える取組の実践を行った。

ア 学校図書館入口や階段掲示板の工夫

ウェルカムボードを設置し、知らせたい情報を貼ったり、季節にあった雰囲気を作ったりしている。またそれとともに、目をひく一冊の本、話題性のある本をその脇に置けるようにした。また階段の掲示板にも図書関係の情報を貼り、興味をもたせた。



イ 本の表紙を見せる工夫

狭い室内で平置きでの陳列が難しいが、できる範囲で表紙をみせるように並べている。時季により大きな机を利用するなどして、今月の特集や新刊本を平置きして手に取りやすく選びやすくしている。



ウ 貸出数の特別枠

本校では通常貸出冊数は2冊だが、カードが1枚終わるとプラス1チケットをプレゼントし次回3冊借りられる特典がある。また夏季・冬季休業前には家庭でもゆっくり読書に親しめるように10冊まで借りられるようにしている。その際、新型コロナウイルス感染症対策も踏まえ、夏休み前事前に整理券を配布し混雑を避けている。混雑を避ける効果のみに留まらず、整理券を持つことによって特別感を味わえるとともに、忘れずに借りに来ることが確認できた。



エ 図書委員会との連携

前・後期それぞれにイベントを企画し、学校図書館へ来てもらう工夫をしている。これまでは分類番号別の「分類ビンゴ」だったが、今年は「初級者：ジャンル別」「上級者：作家名」と変えてみて興味を喚起した。その他にウーバーリーズ・スタンプラリーやおみくじ（予定）がある。読書月間では先生おすすめ本を教えてもらい、昇降口に掲示するとともに、昼の放送でそれを生徒が読み上げた。生徒は興味をもって聞くことができていた。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 図書だよりを含め学校図書館の情報を発信することで、来室者数を増やすことができた。
- ・ 委員会との連携により読書の楽しさを味わう機会を作ることができた。

(2) 課題

- ・ 教科との連携を図ること。国語・道徳などの関連図書紹介以外にもSDGsなど、さらに充実させること。
- ・ 幅広い読書ができる環境を整えること
- ・ 読書の質を高める工夫。

(3) おわりに

学習・情報センターとしての学校図書館を意識し、さまざまな本と出合えるような場にしていきたい。